

SEKISUI ステンレスベランダ用ものほし台 スタンドポール® DSL-10 取扱説明書

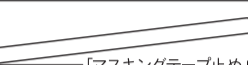












このたびは、セキスイステンレスベランダ用ものほし台をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用に際しましては、**注意**事項をお守りいただき、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。この「取扱説明書」は、大切に保管してください

Lot No.

△ 取付け前のご注意

- ポールは、天井と床にバネで圧着取付けしますので、取付ける天井面は、コンクリートや梁(横桟)などしっかりした場所をお選びください。
- ボードなど軟らかい材質面の場合には、天井が破損する恐れがありますので、必ず棧のある位置に取付けてください。
- 和室の天井は、破損したり、変形して止まらないことがありますので、取付けないでください。
- ベランダの場合、取付け位置は、万一竿などが落下すると危険ですので、必ず壁側に取付けてください。絶対に手すり側には取付けないでください。
- 傾斜した天井・床には取付けないでください。
- 天井と床の間が、取付範囲の205~300cmであることを確認してください。

部品表 * 部品の名称と数量をまずご確認ください。

部品名	数量	部品名	数量
①本体支柱-上 	2	⑦圧着板 	4
②本体支柱-下 	2	⑧支柱連結具 	8
③竿かけ-大 	2	⑨蝶ネジ 	2
④下段竿かけ 	2	⑩丸ネジ 	6 セット
⑤前支柱 	2	⑪板ナット 	6 セット
⑥前支柱キャップ 	2	⑫丸ネジ-長 	8 セット
		⑬六角ナット 	8 セット

組立てかた

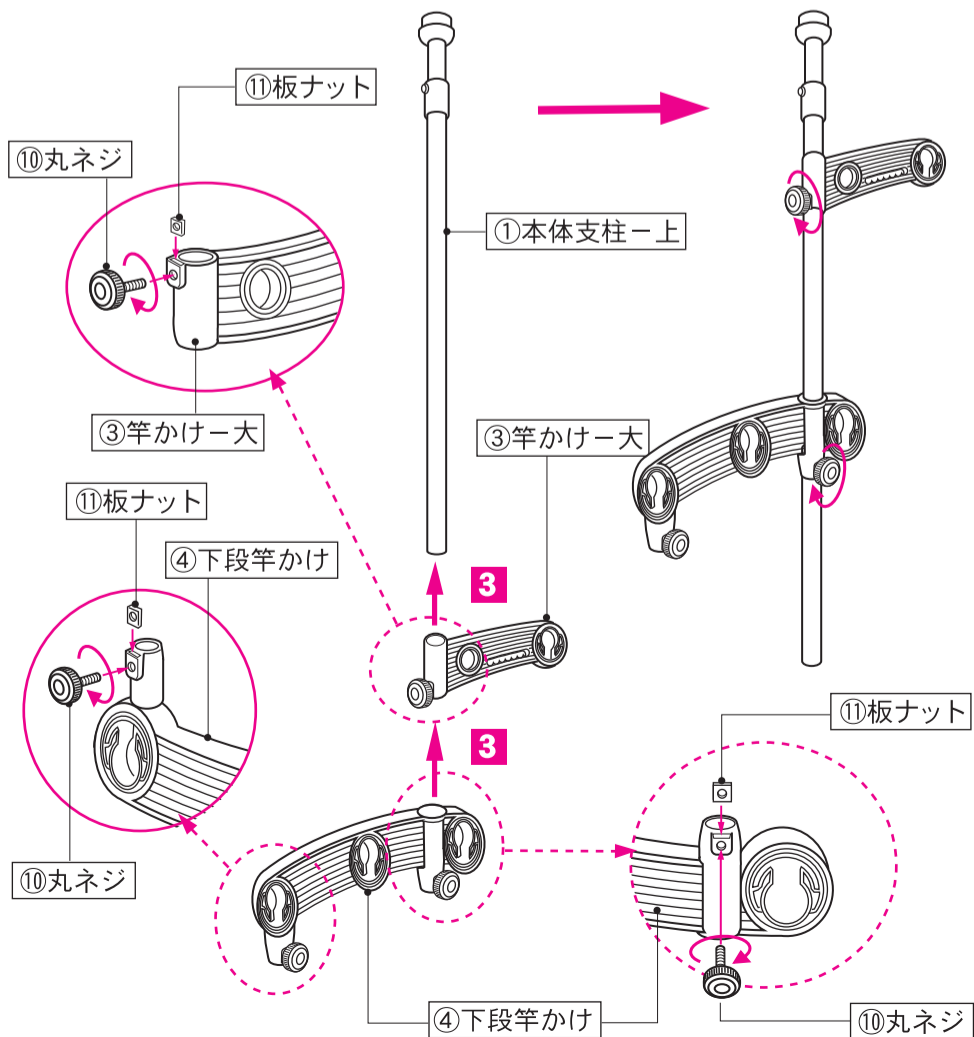
△ 注意

- パイプの端面などで手や足などをケガしないように注意して組立ててください。(端面に手などを触れないでください。)
- 蝶ネジの先端はキリ状になっていますので、先端で指などをケガされないよう、十分にご注意ください。
- 組立てる際には、手袋を着用してください。

1 ⑩丸ネジ から ⑪板ナット をはずしてから ③竿かけ-大、④下段竿かけの溝に ⑪板ナット を挿入し ⑩丸ネジ を軽くネジ止めしてください。(6箇所)

2 ①支柱-上 のマスキングテープをとり、端の成型品を「ユルム」の方向にまわしてから引っ張って「細いパイプ」を10cm程引き出し図のように「トマル」の方向にまわして軽くとめます。

3 **1**で⑩丸ネジをセットした③竿かけ-大、④下段竿かけを①本体支柱-上に図のように挿入し、⑩丸ネジで軽くネジ止めします。
※ ③竿かけ-大 ④下段竿かけ の挿入方向にご注意ください。



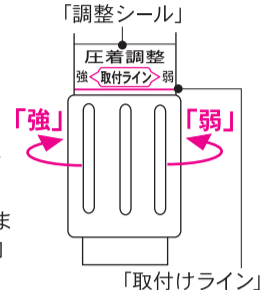
4 ②本体支柱-下 の「圧着調整ネジ」をまわし「圧着調整ネジ」の端を「調整シール」の「取付ライン」にあわせませう。

5 ②本体支柱-下 に ①本体支柱-上 を奥までしっかりと差込みませう。

6 ⑦圧着板 を ①本体支柱-上、②本体支柱-下に奥まで確実に差込みませう。

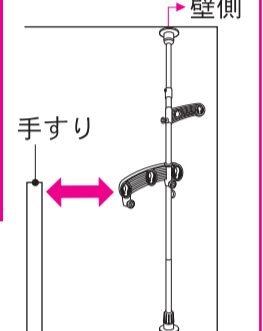
※ 圧着調整ネジは………

- ①「弱」の方向にまわし過ぎると、からまわりする構造になっています。からまわりするようであれば、圧着調整ネジを引っ張りながら「強」の方向にまわせば、からまわりは解消されます。
- ②「強」の方向にまわし過ぎると抜けますので、抜けた場合は、「弱」の方向にまわしてネジ込んでください。



ベランダの場合、取付け位置は、万一竿などが手すりの外へ落下すると危険ですので、必ず壁側に取付けてください。絶対に手すり側には取付けないでください。

※ 注意) 取付時、手すりからの距離を十分はなしてお取付けください。

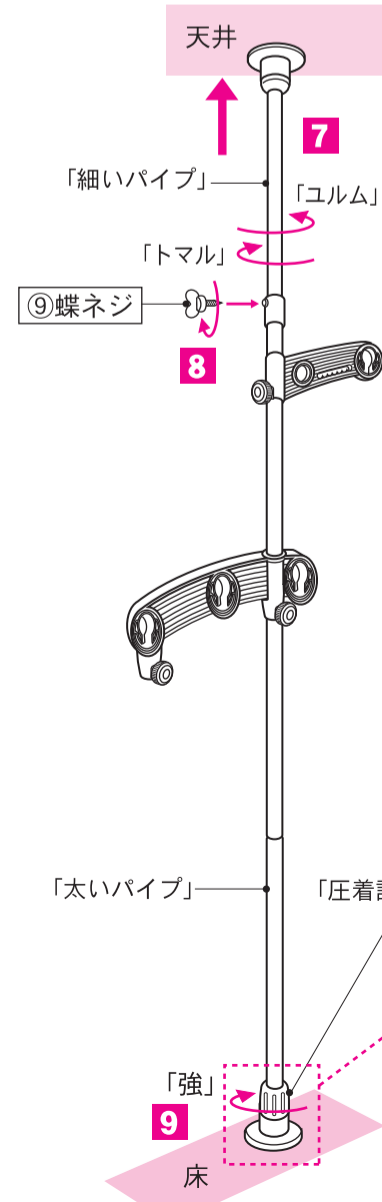
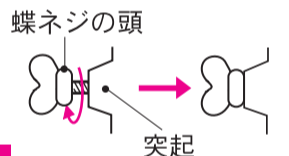


取付けかた

7 ①本体支柱-上 の「細いパイプ」を「ユルム」の方向にまわしてから、天井までいっぱいのにぼし、次に「トマル」の方向にまわして、しっかりと固定します。
※ 支柱が倒れない程度に仮固定されているか確認してください。

8 「支柱」が垂直か、建物の縦柱などの垂直に合わせ「支柱」の前後・左右にねじれ・傾きがないことを確認し、⑨蝶ネジで①本体支柱-上 の細いパイプを確実に固定します。

※ ネジ止めは少しか目の設計ですので、強くまわし、蝶ネジの頭が突起に当たるまで確実にネジ止めしてください。

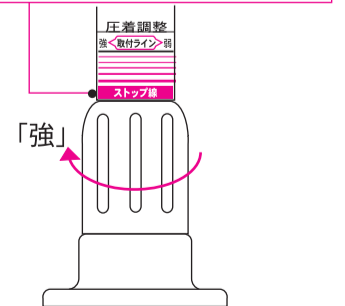


9 このままでは取付け強度が不十分ですので ②本体支柱-下 の「パイプ」が回転しない様に片手で「太いパイプ」を持って、片手で「圧着調整ネジ」を「強」の方向にまわし、バネの力で天井と床にしっかりと固定します。
※ 取付け強度が弱いと倒れる場合がありますので十分にご確認ください。

※ 圧着調整は、調整シールのストップ線までにしてください。ストップ線をこえた時は、最初から取付け直してください。

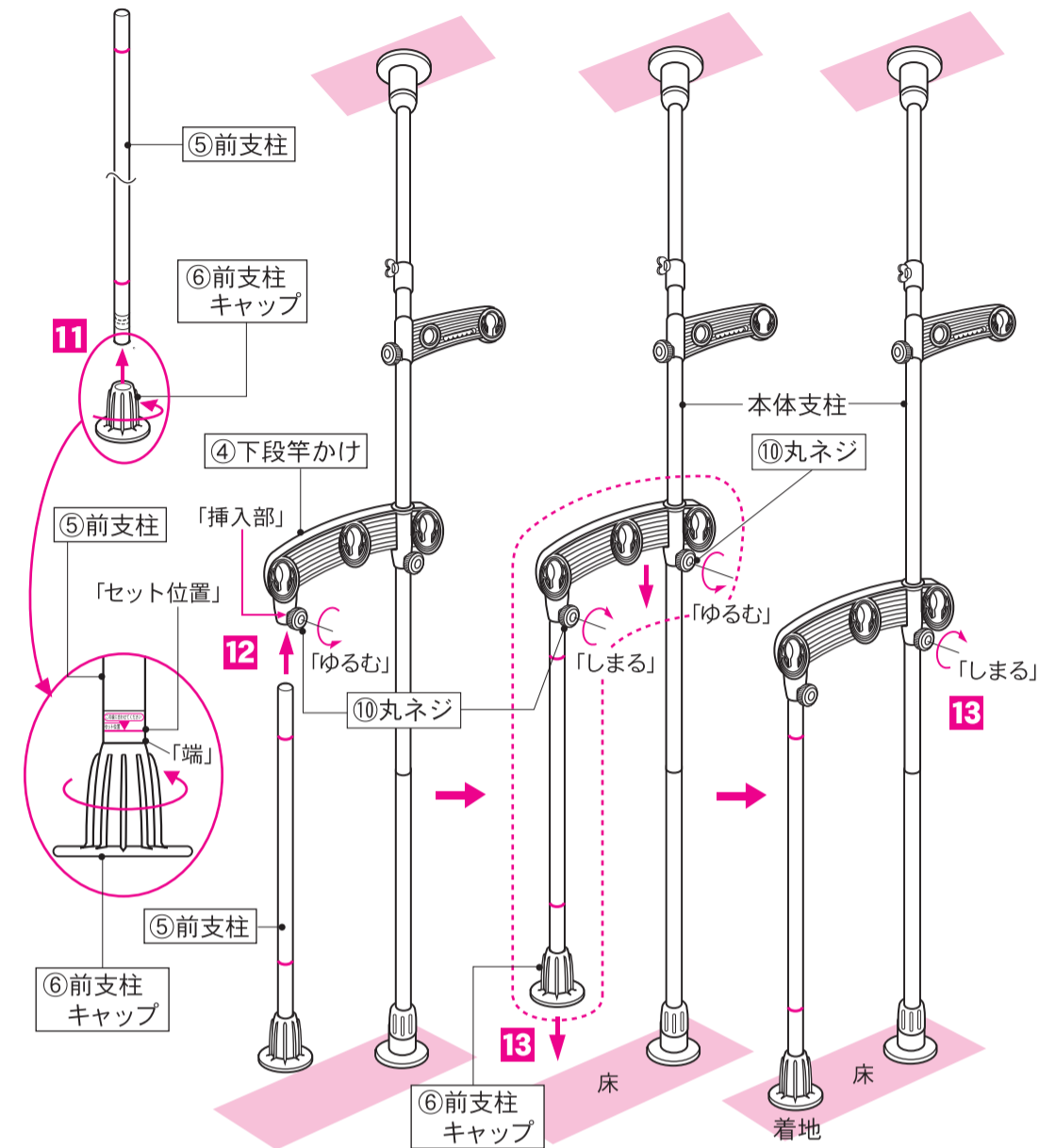
10 再度、取付け強度が十分か、「支柱」が前後・左右に傾いていないか確認してください。

※ 圧着調整は、ストップ線までにしてください。ストップ線をこえた時は最初から取付け直してください。



裏面につづきます。

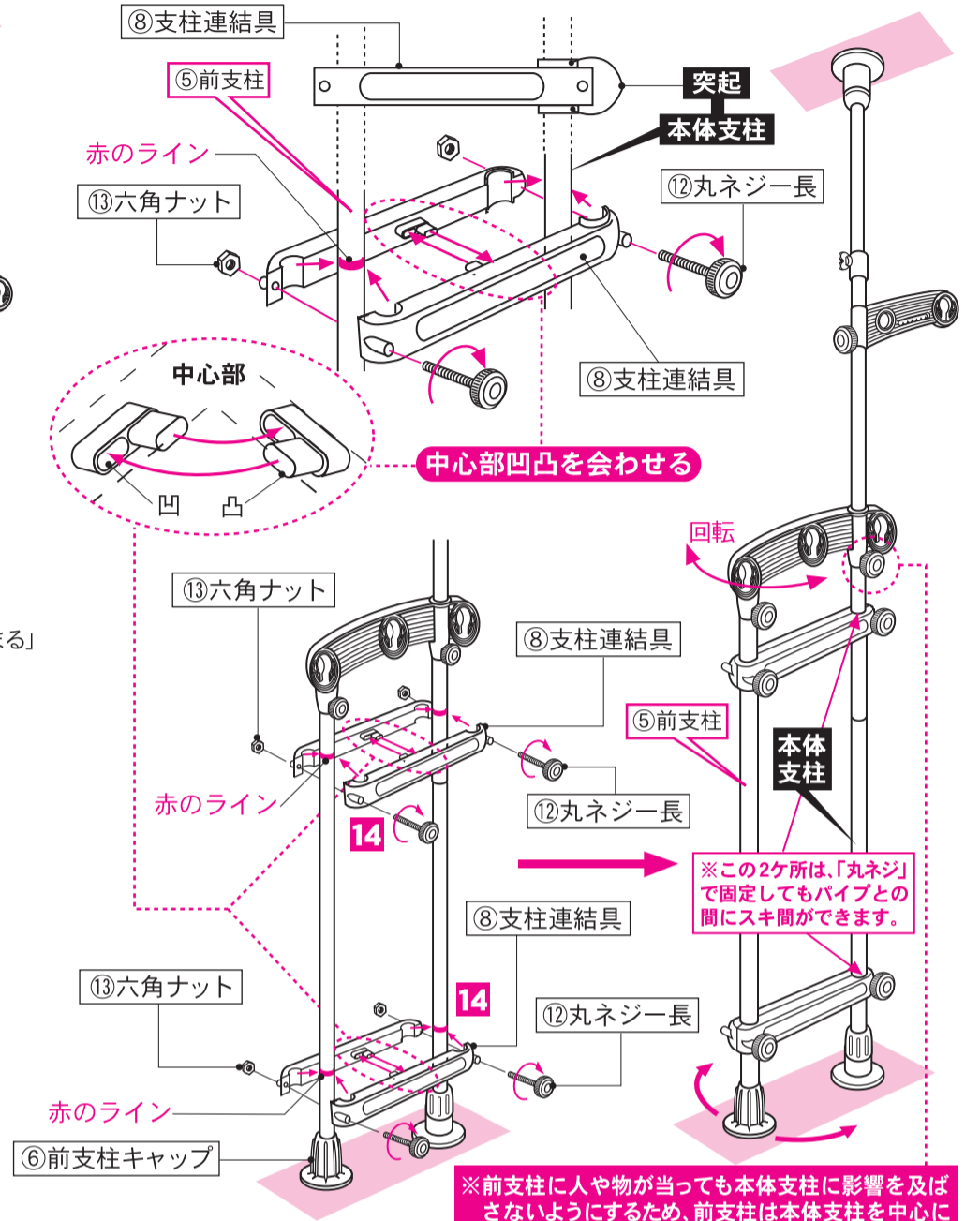
- 11** ⑤前支柱に⑥前支柱キャップをまわして取りつけて端を**セット位置**シールの「**セット位置**」に合せます。
- 12** ④下段竿かけの前の「**挿入部**」に⑤前支柱を奥まで差し込み、⑩丸ネジをまわし、しっかりと固定します。
- 13** 点線部の④下段竿かけの本体支柱側の⑩丸ネジをゆるめ⑥前支柱キャップを床に着地させ、⑩丸ネジをしっかりと固定します。



- 14** ⑫丸ネジ長から⑬六角ナットをはずしてから、図のように⑧支柱連結具2つを、必ず**突起**のある方を**本体支柱**側にして合せ④下段竿かけのすぐ下と⑥前支柱キャップのすぐ上の2ヶ所で⑤前支柱と本体支柱をはさみ⑫丸ネジ長と⑬六角ナットでしっかりと固定します。

警告

※⑧支柱連結具は、上下とも中心部の凹凸を合わせ、必ず、⑤前支柱の赤のラインに合わせてしっかりと固定します。

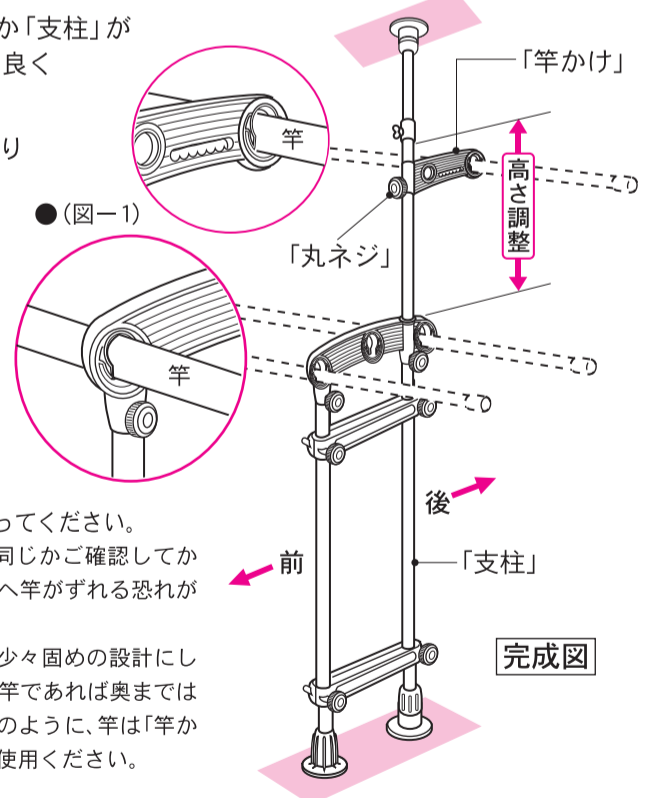


※前支柱に人や物が当たっても本体支柱に影響を及ぼさないようにするため、前支柱は本体支柱を中心に回転する構造としています。この丸ネジをしっかりと固定し、ご使用ください。

- 15** 最後に、取り付け強度が十分な「支柱」が前後・左右に傾いていないか良く確認してください。

※竿は「竿かけ」の奥までしっかりととはめてください。

図のように、「支柱」に対し、前後に振り分けて竿を掛けてください。



【ご使用に際してのお願い】

- 「竿かけ」を上下に移動させる時は「丸ネジ」を確実に「ゆるめ」てから行ってください。
- 竿をかけて左右の「竿かけ」の高さが同じかご確認してからご使用ください。高さが違うと片側へ竿がずれる恐れがあります。
- 「竿かけ」は竿の落下を防止するため、少々固めの設計にしていますが、径が2.5~3cmの一般用竿であれば奥までは固定することができます。(図-1)のように、竿は「竿かけ」の下までしっかりと押し込んでご使用ください。

【ステンレス製品のご使用に際してのお願い】

- ステンレスは鉄にくらべ、サビにくい金属ですが使用条件や環境によってはサビを発生させることがあります。
- サビの原因は主に潮風に含まれている塩分、大気中に浮遊している鉄粉や有害ガスなどでこれらの異物が付着し、もらいサビをおこします。いつまでも美しくご使用いただくために時々、パイプを目で確かめ、早めに異物をおふきとりください。
- 手入れの方法
 - ①軽い汚れは水ぶきをしてください。
 - ②とれにくい場合は中性洗剤かベンジンなどでふいた後、よく水ぶきをしてください。
 - ③点状のサビがみられる時は、中性洗剤や目のこまかいキッチン用クレンザーなどを布につけて軽くこすりつけた後、よく水ぶきをしてください。

品質表示 本体……ステンレスパイプ
成型部品……ABS樹脂・ポリプロピレン樹脂/ゴム……EVA樹脂・天然ゴム
バネ・ネジ類……スチール(メッキ)

注意

- ご使用前に必ず完成図通りに組立てられているか確認し、各部を点検してからご使用ください。ご使用前・ご使用中に異状に気づいた場合は、ご使用にならないで下記「お客さま相談室」までお問い合わせください。
- 本製品は、洗濯物用のほし台ですので、他の用途にはご使用にならないでください。
- 製品に急激な力をかけたり、ぶらさがったり、引っ張ったり、乗ったりしないでください。落下や転倒によりケガをしたり、物を破損する恐れがあります。(特にお子さまにご注意ください。)
- ストーブなど火気のそばでは使用しないでください。
- 取付け2~3日後に、しっかりと取付けられているか確認し、弱い時は、圧着調整ネジを「強」の方向に回して取付け強度をアップしてください。また、定期的にポールを引張って、取付け強度を確認してください。
- 作業中にポールを無理に引張ったり、強く当たったりするとポールが取付け面からズレ、倒れる場合も予想され大変危険ですので、ご注意ください。(特にマンションのベランダ等では)また、定期的にポールが真直ぐに取り付いているか確認し、斜めになっている時は、付け直してください。
- 長期の使用により、成型品にひび割れ等の劣化が生じた場合は、強度が不足して危険ですので、ご使用にならないでください。また、ステンレスパイプに割れが発生した場合は、大変危険ですので、直ちに使用を中止してください。
- 台風の日など風の強い時には使用せず、竿はとりはずし、床などに置いてください。(特に中高層住宅のベランダなど)又、風の強い時は竿かけからはずれないように注意してください。
- 竿のかわりにものほしロープを使用しますと倒れる場合がありますので使用しないでください。
- 竿や洗濯物の落下にご注意ください。
- かけられる重さは、全体で約20kgです。(竿1本あたり約10kg)全体にバランス良くほしてください。
- かけられる重さは、取付け高さ・取付け幅・天井と床の状態・取付け方によって低くなる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品は天井と床に圧着固定しますので、プラスチック製の床や天井の場合、材質によっては、圧着面についているゴムの内容物の析出や移行により、変色や変質を起こす場合がありますので、取付け2~3日後に取付け面をご確認してください。変色や変質がみられる場合は、あて板をして圧着固定してください。尚、取り外した後に、天井と床の材質によっては、変色や跡形が残る場合がありますのでご了承ください。
- ベランダでは、前支柱などに身体や物をあてないようご注意ください。

お問い合わせ先

製品は厳正な品質管理を行っておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが「お客さま相談室」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

積水樹脂株式会社「お客さま相談室」0120-808032

(土、日、祝日は休日ですのでお問い合わせは平日(9:00~12:00・13:00~17:00)にお願い致します。)

積水樹脂株式会社

インターネット・ホームページ・アドレスナンバー
http://www.sekuisuijushi.co.jp/(製品情報,生活製品内)

MADE IN CHINA

【ご注意】

●製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。